

業務委託仕様書

1 名称

宝が池公園を起点としたエリアマネジメント支援業務

2 履行期間

契約締結日の翌日から令和 6 年 3 月 2 9 日（金）まで

3 趣旨及び目的

多くの公園で老朽化が進み、維持管理等のためのコスト増大が懸念される状況にある一方で、地域コミュニティの活性化、健康長寿、飲食の提供など、公園に対する住民のニーズが多様化してきている。

令和 4 年の国の検討会においては、「都市公園制度誕生 1 5 0 年目のパラダイムシフト」として、多様な主体との連携を一層進め、利用効果のみならず、公園の存在効果、地域への波及効果にまで、そのポテンシャルを活かし、「使われ活きる公園」を目指すべきことが提言されるなど、公園のより柔軟な管理運営が求められている。

京都市では、令和 3 年度から、民間企業などに対して公園の柔軟な利活用を試行的に認め、地域・企業・行政で継続的に対話等を行いながら、それぞれの公園の理想像を探る「公民連携公園利活用トライアル事業」を導入した。社会実験として始めたこの事業では、公園の魅力や利便性の向上のみならず、公園を拠点とした地域交流や社会課題の解決に寄与する事例も出てきている。

こうした成果を踏まえ、令和 4 年度から、京都市唯一の広域公園として広大な園地と豊かな自然を有する宝が池公園をモデルに、産学公民の多様な人材が一堂に会して知恵を結集し、公園の更なる魅力向上と公園を起点としたまちづくり（地域の課題解決と価値向上）を推進するエリアマネジメントの取組に着手。学びを通じて交流しながら公園でできることを共創する交流会「…だから、宝が池。」や、交流会で生まれたアイデアをイベントとして実践する「未来の公園の見本市」を開催するとともに、これらの取組を発展させ、令和 5 年 3 月には、宝が池公園のステークホルダーによるエリアプラットフォーム「宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）」準備会を立ち上げたところである。

令和 5 年度は、「宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）」を正式な組織へと発展させ、同会議において宝が池公園の未来ビジョンを検討・策定するとともに、交流会を継続開催すること等により、関係人口の充実や公園のより良い未来に向けた意見・アイデアの収集を行うこととしており、本業務は、その運営支援を行うものである。

4 業務内容

(1) エリアマネジメントの推進に向けた打合せ

宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）や交流会「…だから、宝が池。」等のエリアマネジメント活動全体を設計するため、地域自治組織等への広報活動を支援するとともに、本市及び受託者に不足する知見や能力を補完する人材（以下「コアメンバー」という。）を招聘しながら、エリアマネジメントの推進に向けた打合せを行う。

- ・ 打合せの回数は10回程度を想定する。
- ・ コアメンバーについては、宝が池エリアとの関係性、専門性、経験等を勘案して、本市と協議のうえ、3名程度を選定する。
- ・ 議題の整理、助言並びにコアメンバーへの謝礼、交通費及び宿泊費（以下「謝礼等」という。）の支払いは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。

本市の謝礼等の基準

謝礼：日額10,000円

交通費：京都市旅費条例に定める額（例：令和5年4月現在、東京駅から宝が池公園まで招聘する場合、28,520円）

宿泊費：1夜につき13,100円

(2) エリアプラットフォーム「宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）」の運営支援

(1)の打合せでの議論に基づき、本市及びコアメンバーと共に宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）の運営を支援する。

- ・ 会議の回数は3回程度を想定する。
- ・ 会議への参加者はコアメンバー、有識者（5名程度）、地域自治組織、市民活動団体、地域企業、金融機関、公園関係者等の宝が池エリアに関わる多様な主体を想定する。コアメンバー及び有識者は有償とし、それ以外の参加者は無償とする。
- ・ 会議後の摘録作成、課題整理並びにコアメンバー及び有識者への謝礼等の支払いは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。

(3) 宝が池公園の未来ビジョンの策定支援

宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）において宝が池公園の未来ビジョンを策定するため、宝が池公園に関わる多様な主体の意見を整理し、未来ビジョンの検討を支援する。

- ・ 宝が池公園の未来ビジョンは、基本コンセプト又は憲章、利活用ゾーニング、利活用ルール等により構成し、「宝が池の森」保全再生協議会の森づくりビジョンと整合するものを想定する。

- ・ 宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）開催にあたっての素案のとりまとめは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。

(4) 交流会「…だから、宝が池。」の運営支援

(1)の打合せでの議論に基づき、本市及びコアメンバーと共に交流会「…だから、宝が池。」の運営を支援する。

- ・ 交流会の回数は3回程度を想定する。
- ・ コアメンバーへの謝礼等の支払いは必須業務とし、その他の業務は受託者の提案による。

(5) 報告書の作成

- ・ 検討した内容について、報告書として取りまとめる。
- ・ 作成した報告書は電子データ（CD-RまたはDVD-Rに保存）として2部提出する。

5 参考資料

- (1) 公民連携 公園利活用トライアル事業 令和3年度実施報告書
<https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001621.html>
- (2) 公民連携 公園利活用トライアル事業 随時更新情報
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000287142.html>
- (3) 「宝が池の森」保全再生協議会 森づくりビジョン
http://takaragaike.html.xdomain.jp/pdf/forest_vision_1st_ed_20220306.pdf
- (4) 「宝が池公園の持続可能な公園運営に資する公民連携事業に向けたサウンディング型市場調査」の結果について
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000303520.html>
- (5) 宝が池公園の柔軟な運営に向けてSNSを開設！～多様な主体の協働による地域の課題解決と価値向上を目指して～
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000302144.html>
- (6) 産学公民が連携して描く、未来の公園の見本市！「…だから、宝が池。」開催！
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000304892.html>
- (7) 宝が池公園の柔軟な運営に向けた活動レポート「…だから、宝が池。」
https://www.city.kyoto.lg.jp/digitalbook/page/0000001927.html?fbclid=IwAR3rXQY-Xz-_qZFdVVBDSLsHGFK0tHFvfBm4YpzdWdKp7-cmNAc4CgXYc_Y

- (8) 宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）準備会 本冊資料

<https://drive.google.com/file/d/1kzpcXnS35K-4kymn4xYQDp0Y343I8NhG/view?fbclid=IwAR3D6ERdv8J0qUcPJQ7vK9r4ZZUfee0c40--HZPO-DLWTUtpVoTotGffpjY>

- (9) 宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）準備会 別冊資料

https://drive.google.com/file/d/15_y3P6CIukF2GnE_1zhzTLH_-LuBAXhd/view?fbclid=IwAR3-y6C6iqYqX9sT0chDGtQD23BZY0J8I3gf3JBjV2cF3_AV2pzZXQpGAR4